

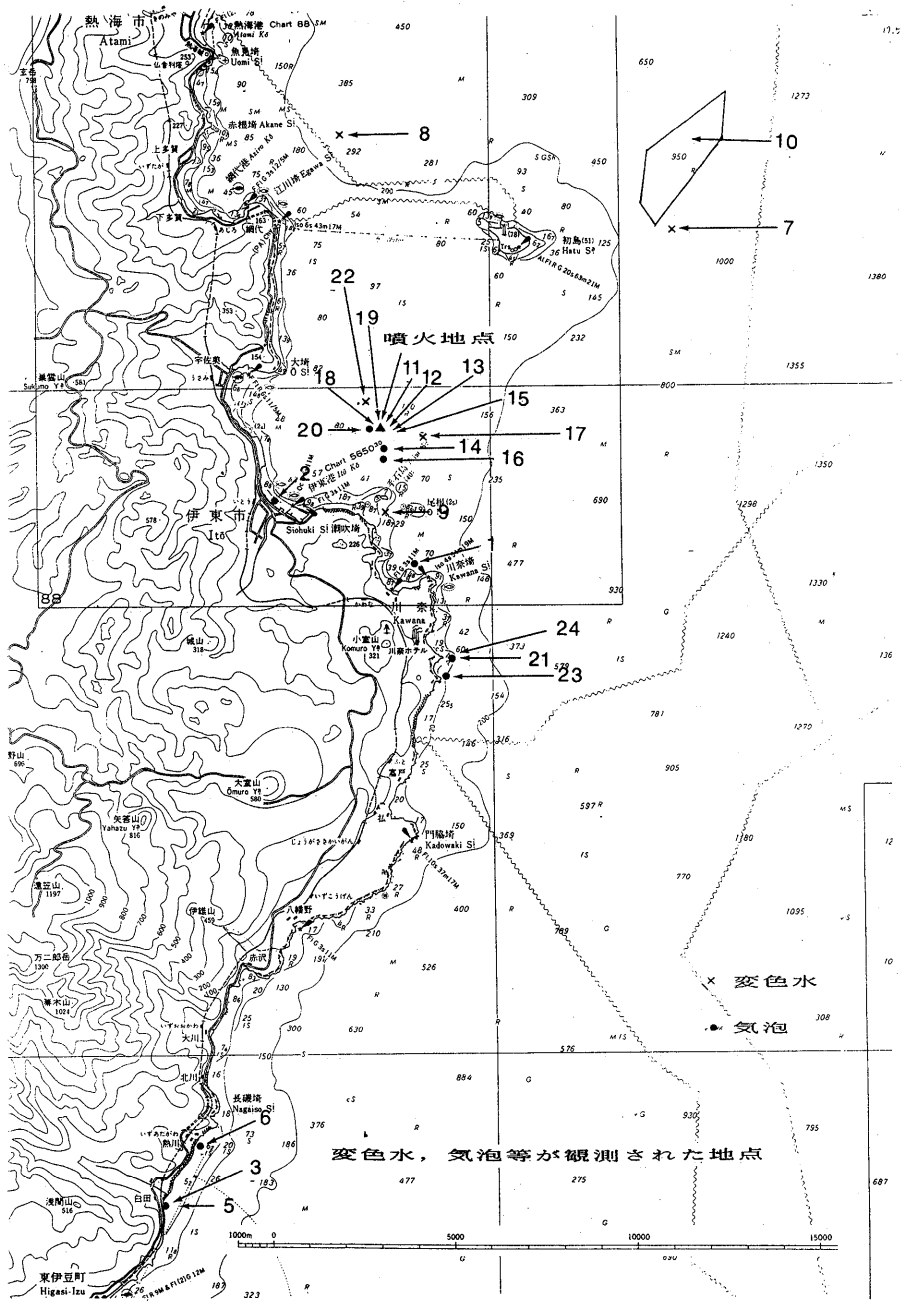
伊東沖海底火山（手石海丘）周辺 の変色水，気泡等の海面現象*

海上保安庁水路部

海上保安庁水路部は，7月4日頃から活発化した伊豆半島東方沖の地震活動において，震源付近の海面現象に関する情報収集にあたった。

8月19日までに当庁が観測したもの及び当庁以外から寄せられた情報は，表のとおりである。

* Received Aug. 30, 1989



第1図 変色水，気泡等が観測された地点

Fig.1 Index map of the locations recognized sea surface phenomema , such as discoloured water (x) and bubbles (●), around the submarine volcano (Teisi Knoll) off Ito in the eastern coast of Izu Peninsula.

第1表 変色水、気泡等の観測報告

Table1 Sea surface phenomena, such as discoloured water and air bubbles, recognized around the submarine volcano (Teisi Knoll) off Ito in the eastern coast of Izu Peninsula.

	月・日	時刻	観測者	変色水	気泡
1	7/5	1242	水口八重子		地震直後川奈崎沖約1kmで波紋の広がりを目撃
2	7/7	1400	MH619	伊東港内で海水の濁りを観測	
3	"	1410	"	片瀬海岸で "	
4	"	1420	"	爪木崎の北(34°43'N, 139°00'E)で海水の濁りを観測	
5	7/8	1410	"	片瀬海岸で海水の濁りを観測	
6	7/11	1000	"	熱川付近に海水の濁り	
7	7/14	1450	巡視船かとり	初島東端から85°, 2.1711付近にて長さ3.5km幅1.5kmの黒褐色の変色水域帯を観測、採取したところコロイド状、色彩薄く、臭気なし	
8	"	1545	MH619	魚見崎と初島の中央付近で0.5711×0.5711の赤黒い赤潮状の海面を観測	
9	"	"	"	手石島南側から500m沖合で幅20m長さ1000mの薄い帯状の赤潮状のものを観測	
10	"	1606	巡視船かとり	変色水の認められる水域は次の各点を結んだ区域内 初島東端から82°3, 400m " 71°3, 200m " 53°4, 000m " 53°6, 800m " 62°6, 000m	
11	7/15	1020	MH931		手石島北方1.7111で半径1m~2mの範囲内に細かい泡の発生を観測
	"	1045	"		1020 観測したものを再確認
12	"	1120	MH618	手石島北方1.7111 付近で薄いコバルトブルー及び薄茶色の変色水(半径2m)を観測	
13	"	1600	海保ヘリ		手石島北方1,800m で半径1mの範囲内に泡の発生を2回観測した
14	7/16	0515	MH684	手石島北方1,400m付近で白っぽい直径2mの変色水を観測	
15	"	0827	MH619		手石島北方1,800m付近で直径約2mの範囲内で気泡の発生を観測
16	7/17	0612	"		手石島北方1,000m付近で長さ5m幅3mの楕円型内でコバルトブルーの気泡観測
17	"	0930	MH684	34°59.3'N, 139°08.8'E付近で変色水を観測	
18	7/18	0655	MH931		34°59.5'N, 139°08.0'E付近で直径5mの円形状に薄緑色の気泡を観測
19	"	1030	LA701		34°59.4'N, 139°08.0'E付近で気泡を観測
20	"	1045	MH931		34°59.4'N, 139°07.8'E付近で薄緑色の気泡を観測
21	7/20	0940	NHK		川奈ゴルフ場沖100m 位で直径5m位の範囲内に無数の発泡がある(緑色) 1005 視認できなかった
22	"	1645	フジTV	噴火地点より北北西1km付近に茶褐色の変色水を観測	
23	7/21	0750	自衛隊		川奈崎から170° 1.5711 付近で約1分間泡のようなものを認めた
24	"	1430	NHK	川奈ゴルフ場沖100m で白い変色水域が同心円状に広がっている	

注) 欄外の数字は付図の観測点を示す